

## 令和7年度第1回大船渡市スポーツ推進審議会 会議録

日 時	令和7年11月12日(水) 午後1時30分～午後3時10分
場 所	大船渡市民文化会館 会議室
出席者	大船渡市スポーツ推進審議会委員 (新沼良治 会長、東芳江 副会長、川畑純 委員、木下淳 委員、金野乃士 委員、 栗村安弘 委員、谷山誠志 委員、渡邊千鶴 委員) 大船渡市(事務局) 協働まちづくり部長、生涯学習課長、課長補佐、スポーツ推進係長
会議内容	
1 開 会	
2 挨拶 (新沼会長)	
<p>御多用のところ、出席いただき感謝申し上げます。令和6年5月と令和7年1月に開催した審議会では、市営球場の大規模改修に係る限られた予算を有効に活用するため、長時間の議論をした。市当局からも丁寧な説明をいただき、感謝している。</p> <p>本日は2つの議題があり、多くの意見をいただくことで、より充実した会議になると考えている。大船渡市のスポーツが一層発展することを願っている。</p>	
3 協 議	
(1) 第1号 大船渡市スポーツ推進計画の進捗状況の評価・検証について	
事務局が資料1の内容を説明し、委員との質疑応答は次のとおり。	
(新沼会長)	
資料3ページの全国大会等出場奨励事業の奨励金の一人当たり支給額はいくらか。	
(スポーツ推進係長)	
奨励金は、団体又は個人、成年又は少年、全国大会又は東北大会の出場の場合により異なり、5千円から3万円の範囲で支給している。	
(新沼会長)	
資料5ページのスポーツ施設利用者数について、大規模施設では若干の減少が見られるが、大規模林野火災の影響と捉えてよいか。	
(生涯学習課長)	
林野火災発生後は、スポーツ施設の貸出しを停止し、特にも市民体育館は4月末まで支援物資の集積・保管場所として使用するなど、災害対応に当たったことにより、スポーツ施設の利用者数は前年度より減少した。	
(新沼会長)	
学校体育施設については、利用者数が伸びているが、理由はあるか。	
(生涯学習課長)	
スポーツ少年団や社会人の利用が定着し、利用者数は増加傾向で推移している。	
(栗村委員)	
資料6ページのスポーツ合宿支援事業について確認したい。市内にある施設を活用して合宿を行った場合の支援金額は他自治体と比較してどのようなものか。	
(課長補佐)	
県内には補助金がない自治体もある中で当市の制度は大きな特徴である。冬季に積雪が少ない点は当市の強みであり、これを活かして合宿誘致とスポーツ施設の利用促進、市内経済の活性化を図っていく方針である。	
(栗村委員)	
誘致活動を進めるうえで、現在の取組に何か不足している点があるのか。また、活動が十分なのか伺いたい。	

**(生涯学習課長)**

当市では、通年で誘致活動を実施しており、令和6年度は、7月には県内の高等学校のバスケットボール部、8月にはバレーボール部が来訪した。また、令和7年3月には、数年間、赤崎グラウンドを利用している県内の高等学校の女子サッカー部の来大が予定されていたが、林野火災の発生により中止となった。

今後は、新規の学校誘致を図るための取組を強化していく方針である。

**(課長補佐)**

夏休みや冬休みの期間をターゲットとし、休暇前に県内の高等学校へ施設の利用案内を送付するなどの取組により誘致の拡大に努めている。

**(栗村委員)**

赤崎グラウンドの整備により、プロや社会人のチーム、学校などの利用が増える可能性がある一方で、店舗や自動販売機などの周辺環境が整っていないのではないかと。

**(生涯学習課長)**

行政として取り組みにくい部分ではあるが、賑わいを創出することで、民間の店舗やサービスが展開されるような広がりを期待したい。

**(協働まちづくり部長)**

大会等でグラウンドに人が集まることはビジネスチャンスであり、市の商工港湾部を通じて、商工会議所や観光物産協会等と連携して取り組む必要がある。

また、誘致活動については、県内のほか宮城県北部地域の高等学校などへのPRに努め、利用者の確保を図る考えである。

**(栗村委員)**

良い方向性であると思う。現在、大船渡市には追い風があると感じており、佐々木朗希選手や小笠原満男さん、オリンピックに出場した栗生澤淳一さんと佐々木七恵さんなど多くの人材がいる。他団体とも協力しながら進めてほしい。

また、市民体育大会のバレーボールチーム数が減少している。社会人クラブの消滅、北里大学の学部閉鎖、少子化の影響で学校の生徒数が少なく、高校でも部活動が成立しにくい状況である。気仙管内全体で何とかチームを作り出場している。

**(新沼会長)**

高校生は体育でバレーボールを楽しんでいるので、もう少し参加してもよいのではないかと。まとまったチームでなくとも参加できる機会があれば良いと感じている。

**(渡邊委員)**

高齢者・障害者スポーツの推進についてであるが、高齢になり車を手放すと会場まで行けないという声を聞く。大船渡市Y・Sセンターの水中運動教室はサンリアからバスが出ており、行ける人は良いが、行けない人にとっては不便である。80歳を超えても車で通っている状況がある。高齢者の免許返納が進む中、スポーツ推進のためにも地域へのバス運行など移動手段の確保を検討してほしい。

**(生涯学習課長)**

提言に感謝する。高齢者の免許返納の影響で、市内移動が課題となってきた。交通政策の担当部署とも連携し、デマンド交通やタクシーチケット、公共交通の活用など、高齢者のスポーツ参加への配慮を検討していきたい。

**(協働まちづくり部長)**

バス利用者の減少により、バス路線の維持が難しくなっている。高齢者政策の視点からも、買い物支援・通院支援などの検討が必要である。市としては、交通施策、高齢者施策、さらには、まちづくりの視点を含め総合的に考えていく必要がある。

**(新沼会長)**

地域助け合い協議会に関わっているが、「スーパーで買い物をしたい」ので移動支援を望む声が多いが、借用した車両で事故が起きた場合の対応を考えると対応は難しい。市内全域をカバーするバス運行は難しいが、何か良い方法があればお願いしたい。

**(生涯学習課長)**

高齢者が元気に自分で移動できることが大切である。そのためにもスポーツ教室やニュースポーツなどを展開し、高齢者の体力維持を支援していきたい。

**(新沼会長)**

公立こども園で実施しているスポーツ教室の内容を教えてください。

**(課長補佐)**

公立こども園のほか、民間のこども園でもキッズスポーツ教室を開催している。様々な運動種目を通じて体を動かす楽しさを体験してもらう内容である。

**(新沼会長)**

競技力向上について、著名なコーチを招聘し、中学生や高校生への専門的指導を行う事業を検討してはどうか。全国的にも成果が出ており、有効な手法であると思う。

**(生涯学習課長)**

優秀なコーチや先輩による指導は重要である。令和7年度は、アスリート応援団事業として佐々木遥香選手の所属チームによるバレーボール教室、佐々木陸選手が所属するJR盛岡硬式野球部による野球教室を行い、参加した小学生から高校生の競技力向上に成果を上げている。コーチの招聘は人材確保が難しい面もあるため、情報提供をお願いしたい。

**(栗村委員)**

東日本大震災や大規模林野火災に関する支援としての教室が多く、選手も永遠に現役ではない。今後は、市がビジョンを持ち、持続的な育成を考えていくべきである。

**(生涯学習課長)**

これまでの支援には感謝している。今後は個別の招聘も検討していく必要がある。既存のつながりは大切にしながら進めたい。

**(新沼会長)**

招聘したコーチによる講演なども面白い。例えば、洋野町の強豪チームの監督など、視察を兼ねても良い。

**(新沼会長)**

11ページの新春ロードレース大会の参加者数が令和5年度に減少していることについて説明を求めたい。

**(課長補佐)**

コロナ禍で大会を中止した影響から、参加者の回復が遅れている。人口減少も要因であり、令和6年度はわずかに増加したものの横ばいである。

**(川畑委員)**

参加者を増やす取組として、ゲストラナーの招聘が効果的である。冬季の開催やイベント性の不足も課題であり、前夜祭の開催などを含め改善の余地がある。

**(課長補佐)**

ゲストラナー招聘は有効であり、参考とする。

**(新沼会長)**

青山学院大学陸上競技部の学生などを呼んで箱根駅伝のスピードを体感してもらうなども良い。また郷土芸能との連携も面白いのではないかな。

**(生涯学習課長)**

新春ロードレース大会は競技性を重視してきた歴史があるものの、前夜祭やゲストラナーの招聘、仮装など新たなアイデアも含め幅広く検討したい。

**(東副会長)**

マラソン関係者からは、シャワー施設やロッカールームの不足など設備面の要望が多い。改善されれば参加者は増えると考ええる。

**(木下委員)**

参加申込の決済方法として、現金以外にバーコード決済なども周知・拡充してほしい。

**(栗村委員)**

競技性重視という方向と、ゲストラナー・前夜祭などの方向をどのように考えるか。

**(生涯学習課長)**

大会の方向性は実行委員会で決定しており、今回の意見を伝えたい。

**(新沼会長)**

競技性を重視するなら前夜祭は合わないが、意見が出るのは見直しの時期であるとい

うことだと思うので、検討をお願いします。

**(新沼会長)**

資料12ページのスポーツ少年団の団体数、指導者講習会の参加者数の減少について影響を尋ねたい。

**(スポーツ推進係長)**

スポーツ少年団の団体数は、令和6年度から2団体減少している。団体数が減少すれば、指導者数の減少も予想されるため、指導者講習会の参加者数にも影響が出てくるものと考えている。

**(谷山委員)**

指導者について、スタートコーチ資格を一度取得すれば継続して指導できたが、現在は3年ごとの更新が必要となっている。

市内の一般指導者は自分のみで、他はすべて保護者コーチであるため、子どもの進学に伴い指導者が入れ替わり、継続的な指導体制が確保できていない。自身も活動を続けているが、引き受け手がなく辞められない状況である。

また、女性の一般指導者が不在であり、合線で活動している団体もあるが、保護者の参加が前提であるためナイター練習が常態化している。本来は午後4時から指導可能であるが、実際は夜間活動となっている。

スポーツ少年団を取り巻く環境は変化しており、講習会に参加するのは保護者コーチであり、数年で入れ替わるため、継続性や実効性に課題を感じている。

**(生涯学習課長)**

貴重な意見に感謝する。

**(新沼会長)**

谷山委員からのスポーツ少年団活動の厳しい現状を聞き、確かかと思う点が多い。立根地区のスポーツ少年団でもナイターでの活動が行われており、寒い中での練習となっている。保護者が入れ替わりながら指導している状況で、外部指導者の受入れに消極的なのかと感じる部分もある。

**(東副会長)**

立根地区では一般の保護者は就労しているため、午後4時からの指導は不可能であり、ナイターでの練習となっている。保護者は子どもが小学校に在籍する期間のみコーチを務め、卒業と同時に新監督・新コーチとなるため、影響を受けるのは子どもたちである。指導方法が変わり、試合でも混乱が生じている。この状況を改善するためにも、新たな方針の検討が必要である。

〈結論〉原案のとおり承認した。

**(2) 第1号 主要施設の整備方針について**

事務局が資料2を説明し、質疑応答は次のとおり。

**(東副会長)**

サッカーグラウンド増設については、岩手県や東北規模の大会の誘致を目指すとのことだが、駐車場は現状のままなのか。

**(生涯学習課長)**

現在の多目的広場のクレー部分の広さがあればサッカーコート設置は可能である。砂利の駐車場についても現状確保できると考えている。ただし、配置については多くの意見をいただいております、関係者と協議のうえ検討していきたい。

**(新沼会長)**

赤崎地区とはどのように調整を図るのか。

**(生涯学習課長)**

今後、関係者の意見を聞きながら配置を決定していきたい。

**(栗村委員)**

市民体育館について、避難場所として使用するのであれば相応の防災機能を備えた施設にすべきである。約49億円という費用や財源確保の課題はあるが、災害の頻発を考え

ると悠長に構えてはいられない。

また、現在の市民体育館の2階トイレの不具合や1階トイレの水漏れなど老朽化が進む中、応急処置で対応している状況である。耐用年数は残り10年程度と聞くが、災害時の状況を踏まえれば前倒しで整備を進めるべきである。

**(生涯学習課長)**

4つの施設を同時に整備すると、市の財政負担や他事業への影響も大きいため、バランスを見ながら進める必要がある。ただし、出来る限り早期整備に努めたい。

**(協働まちづくり部長)**

令和7年度上半期は、庁内で施設整備に係る詳細の協議や予算調整を進めてきた。

「市民体育館の建替整備」については、検討委員会を設置し、津波浸水想定区域以外の建設候補地の選定、施設や設備についての検討など、関係者の意見を聞きながら事業を進める必要があるため、着工までには一定の期間を要すると考える。

一方、「市営球場の大規模改修」や「赤崎地区多目的広場のサッカーグラウンドの整備」については、その場所で事業が進められるので先行しての実施できる可能性が高いと考えている。

令和8年度の予算案が議会で議決されるまでは詳細を公表することはできないが、予算議会後は関係団体と具体的な意見交換を行いたいと考えている。

〈結論〉原案のとおり承認した。

#### 4 その他

**(栗村委員)**

大船渡市のふるさと納税に係る資料を見たが、納税意欲を高めるものになっていないように感じた。他市町村の取組を参考に、ふるさと納税拡大に向けた工夫ができないか。

**(協働まちづくり部長)**

大船渡市のふるさと納税の金額は年々伸びており、令和5年度は約5億円、令和6年度は約10億円と増加している。

担当の企画調整課では、他市町村の事例の研究、返礼品の開発、中間支援事業者との情報交換により、効果的な制度運営に努め、寄付金額の増加について成果を上げている。

〈結論〉原案のとおり承認した。

#### 5 閉会